

No. 57.	昭和62年12月20日発行
ねじればね	発行：日本甲虫学会 〒658 神戸市東灘区御影山手2丁目19-8 大倉正文 方
Dec., 1987	電話：(078) 811局 2706 番 郵便振替口座 大阪 9-39672 番

新入会員



復活



住所変更



認定退会



## 「昆虫学評論」のバックナンバー代について

当会のバックナンバーの価格は下記のとおりです。

第1巻第1号、第2号および第4巻第2号（残11部）	全部で	300円
第7～10巻	各巻はそれぞれ1,000円	4,000円
第11～15巻	1,500円	7,500円
第16～20巻	1,500円	7,500円
第21～25巻	2,000円	9,000円
（ただし、第23巻第2号は次号です）		
第26～30巻	2,500円	12,500円
（ただし、第30巻のみ購入の場合は3,000円）		
第31～35巻	3,000円	15,000円
第36～38巻	4,000円	12,000円
第39～40巻	5,000円	10,000円
第41巻		5,000円

総目録：第1～10巻、第11～15巻、第16～20巻、第21～25巻、第26～30巻、第31～35巻、第36～40巻をそれぞれまとめて購入される場合は、それに該当する総目録は無料で差しあげます。ただし、当該総目録のみ希望の場合はそれぞれ200円、全部で1,400円です。

送料は当会々員に限りすべて無料（学会で負担）です。

## 第 43 巻の会費は 5,000 円です

昆虫学評論第 43 巻の会費 5,000 円を、同封の郵便振替用紙で 3 月末日までにご納入下さるようお願いいたします。

今号(第 42 巻第 2 号)は田村 周・田村 保両氏の「カミキリムシ科の翅鞘の電子顕微鏡による比較研究, 第 2 報」及び林 匡夫幹事の「アジアの天牛科甲虫の研究, 9」の両編が、それぞれ全額実費負担の優先登載で、通常の号よりかなり頁数が増加しました上に、芝田太一氏の還暦記念号を同氏の指導を受けた会員が費用を全額負担するというので、別途第 42 巻補遺として作成することになりました。この Suppl. も、その主旨に賛同された一部会員の投稿も含め約 80 頁となりました。

両号の校正及び疑問点の問合せ等々で、この夏に採集した歩行虫のマウントすらできずじまいに、この秋は経過いたしました。

この Suppl. は本年度(12 月末日)中に第 42 巻の会費をご納入いただいた会員には無料でお送りいたします。来年からは 1 部 2,500 円で配布することにしてまいります。

(両号の編集後記にかえて 大倉正文)